

第1回

モーツァルト交響曲 全曲演奏会

モーツァルトの交響曲・全52曲を10年間で演奏するという壮大なプロジェクト。
そのために結成された松本モーツァルト・オーケストラが
この春、楽都・松本に新しいハーモニーを奏でます。



芸術監督：横島 勝人

管弦楽：松本モーツァルト・オーケストラ

コンサートマスター：牛山 正博

＊ 曲 目 ＊

交響曲 第1番 変ホ長調 K.16

交響曲 第16番 ハ長調 K.128

ディベルティメント 第1番 ニ長調 K.136

弦楽四重奏曲 第1番 ト長調 K.80

弦楽四重奏曲は、松本深志高等学校22回卒のみなさんが
卒業30周年記念に校舎の階段の踏板から作った
ヴァイオリン、ピオラ、チェロを使用して演奏されます。

2008年3月2日(日)

◆開場 / 14:00 ◆開演 / 14:30

会場：松本深志高等学校教育会館

入場料(全席自由)：2,000円



芸術監督：横島 勝人

〔モーツァルト交響曲・全曲演奏会と松本モーツァルト・オーケストラ〕

モーツァルト生誕250年にあたる2006年に、横島勝人氏の指揮で松本室内合奏団がオールモーツァルトプログラムを演奏し好評を博しました。それが縁で、モーツァルトの交響曲全52曲を、今後10年間で演奏するという壮大な計画がもち上がり、2007年12月末に「モーツァルト交響曲・全曲演奏会 実行委員会」を結成いたしました。芸術監督に横島勝人氏を招聘し、管弦楽は松本室内合奏団のメンバーをはじめ意欲ある演奏家で新たに編成される「松本モーツァルト・オーケストラ」が演奏いたします。コンサートマスターは才能教育研究会指導者であり松本室内合奏団団長の牛山正博氏が務めます。また、10年の長きにわたる遠大な計画のため、若手の演奏家も随時募っていく予定であります。

モーツァルト交響曲・全曲演奏会 実行委員会

実行委員長 牛山 勝雄

主催：モーツァルト交響曲・全曲演奏会 実行委員会

共催：長野県松本深志高等学校音楽部志音会・松本室内合奏団・安曇野シンフォニー楽友会・松本あづみの音楽祭

協賛：市民タイムス

後援：松本市・松本市教育委員会・塩尻市・塩尻市教育委員会・安曇野市・安曇野市教育委員会・(社)才能教育研究会

信濃毎日新聞社・SBC信越放送・NHK長野放送局・長野エフエム放送・(財)八十二文化財団

お問い合わせ：090-2531-6081(牛山正博)

PROFILE

プロフィール

芸術監督：横島 勝人 Katsuto Yokoshima

大阪生まれ。9歳よりピアノを始める。大阪音楽大学在学中より指揮活動を開始、同大学卒業後も1990年まで高槻市音楽団の常任指揮者を務める。

1990年ウィーン留学、その後ウィーン国立音楽大学指揮科に入学。同大学教授、レオポルド・ハーガー、ペーター・シュヴァルツ、同大学助教授、湯浅勇治の各氏に師事。

1990年ウィーンマイスタークラス指揮セミナー、1996年ハンガリー国立セグド交響楽団主催指揮セミナーにそれぞれ参加。ユリウス・カルマー、リヒャルト・シューマッヒャー、エルヴィン・アッチェル各氏に師事。ディプロマを取得、演奏会指揮者にも選ばれる。

1996年、ポルトガルで行われたリスボン国際指揮者コンクール、セミファイナリスト。1998年にはオランダ・アムステルダムで行われたキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールにてベスト8に選ばれる。

1998年より日本での活動を再開する一方、1999年には、ウィーン楽友協会ホールでのトーン・キュンストラー交響楽団との演奏会においてベートーヴェン交響曲第9番を指揮、大成功をおさめウィーンデビューを飾る。

これまでに、大阪フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、関西フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、京都市交響楽団等を指揮。2000年より小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトI、II、III、においてアシスタント及び合唱指揮を務める。モーツァルト生誕250年にあたる2006年3月、7月には松本室内合奏団でオールモーツァルトプログラムを指揮し好評を博した。

海外においては、これまでにハンガリー国立セグド交響楽団を始め、フランス国立リール交響楽団、オランダ放送管弦楽団、フランス・グルノーブル管弦楽団等を指揮している。2001年、ウィーン郊外アイゼンシュタットのエスター・ハーズィー城内ハイドンザールにて、ハイドンのオラトリオ“天地創造”を指揮する。2003年にはプラハの春音楽祭のメイン会場であるスメタナホールにて、プラハ放送交響楽団を指揮、好評を博し、地元の音楽関係者からも絶賛される。2005年7月、ドイツ ライプツィヒでのチャリティ・コンサートに出演。ニコライ教会でバッハ「ロ短調ミサ」を、ゲヴァントハウスでベートーヴェン「第九」を指揮。2006年9月、10月にはウィーンとプラハでモーツァルト生誕250年「レクイエム・ガラ」特別演奏会を指揮、絶賛を博した。今後がもっとも期待される若手指揮者の一人である。



松本モーツァルト・オーケストラ コンサートマスター：牛山 正博 Masahiro Ushiyama

1952年生まれ。幼少より、才能教育研究会松本音楽院にてヴァイオリンを始める。ヴァイオリンを鈴木鎮一、豊田耕児、岡山潔の各氏に師事。

松本深志高等学校、神奈川大学を経て才能教育音楽学校卒業。深志高校時代、音楽部室内楽班に所属し、その経験が現在の音楽活動への道を開く。神奈川大学では、管弦楽団を創設し、コンサートマスター・学生指揮者として活躍。

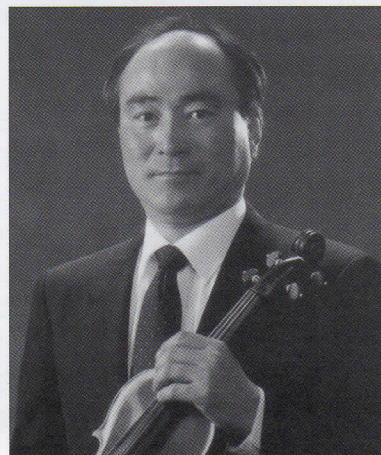
1989年、松本室内合奏団を創設。1993年、松本市芸術文化奨励賞受賞。

松本室内合奏団第7回定期演奏会でバッハのヴァイオリン協奏曲ホ短調、第26回定期演奏会ではモーツァルトのヴァイオリン協奏曲イ長調を、第34回定期演奏会ではモーツァルトのヴァイオリン協奏曲第4番ニ長調をソリストとして共演。

7年程前から始めた老人福祉施設・病院・子供施設での訪問ボランティア演奏は、毎月6～8回行い、いずれも大好評を得ながら、感動の涙を誘っている。

2005年9月、松本市音楽文化ホールでの初リサイタルでは、超満員の来場者を魅了した。

現在、才能教育研究会ヴァイオリン指導者として長野県、山梨県各地に教室を持つ。松本室内合奏団団長及びコンサートマスター。メーテル弦楽四重奏団主宰。長野県松本深志高等学校音楽部志音会副会長。まつもと市民オペラ公演実行委員会副委員長。松本市在住。



第2回 モーツァルト交響曲・全曲演奏会

2008年8月10日(日) 14:30開演

会場：才能教育会館ホール